

やっ報

2016年 4月 15日 No113

発行 松本あきお後援会

(TEL (0847-82-2149))

URL <http://www.kagayakinet.ne.jp/~matumoto-313>

Eメール matumoto-313@sky.kagayakinet.ne.jp



先輩に手を引かれて・油木小学校入学式

- ☆新しく企業を起こされる人の支援
- ☆中小企業の育成
- ②雇用の創出及び商工業の発展
- ①生活基盤の整備
- ☆安田上地区に上水道の設置

最重要施策

その代表的なものが第二子からの保育料の無料化、学校給食の実質無料化などです。新規事業の概要に付いては、4ページに記載しています。

- ③地域資源の活用
- ☆企業誘致
- ☆30万円支給する
- ☆新卒者の場合従業員に
- ☆地域資源の活用
- ☆農業の第6次産業化推進
- ☆養蜂・ナマズの支援
- ☆神石牛のブランド化
- ☆トマト研修施設整備
- ④定住者の確保
- ☆定住促進対策の強化
- ☆フライダル関連事業
- ☆未婚の男女を対象に出会いはから結婚までを支援。
- ⑤地域活性化支援
- ☆協働支援センターの確立
- ⑥教育環境の整備充実
- ☆子どもの教育支援
- ☆県立油木高校の支援
- ⑦子育て対策の充実
- ☆学校給食の無償化
- ☆幼稚園・保育園の保育料無償化(第2子以降)
- ⑧高齢者の健康寿命の増進

持続可能な町づくりをめざす本町にとっては、人口の減少にいかん歯止めをかけるのが、大きな課題となっております。そこで28年度予算では、そのための対策とも言える「子育て支援」と「定住対策」に思い切った施策が講じられました。

子育て支援・定住対策を積極的に

3月定例会

3月定例会は、3月2日から3月18日まで行われ、牧野町長の集大成とも言える28年度予算、条例改正等、83議案と、報告事項、議員発議など提案され、いずれも原案どおり可決しました。一般質問は9名の議員が登壇しました。

町内小学校・新入生及び児童数

学校名	新入生	全校児童数
来見小学校	16	57
三和小学校	19	113
神石小学校	9	54
油木小学校	8	68
豊松小学校	4	39
小学校合計	57	331

町内中学校・新入生及び生徒数

学校名	新入生	全校生徒数
神石高原中学校	21	92
三和中学校	24	85
中学校合計	45	177

平成23年～平成27年出生数

23年	24年	25年	26年	27年
52	52	48	40	45

平成28年度予算総括表 単位：万円

会計名		予算額
一般会計		95億7,000
特別会計	国民健康保険	12億7,380
	後期高齢者医療	3億8,350
	介護保険	19億1,550
	簡易水道事業	3億8,720
	飲料水供給事業	3,520
	農業集落排水事業	2億4,620
	総合開発事業	590
	分収育林事業	100
	計	42億4,790
病院事業会計		3億3,197
合計		141億4,987



餅つき交流会（東油木自治振興会）

あなたに代わって おたずねしました。 松本議員の一般質問

問 協働支援センターの取り組みは

答 28年度で町づくり計画を策定する

松本 Ⅱ 新年度から協働の町づくりを推進するため、協働支援センターが発足するが、具体的な取組と課題について伺いたい。

各地区毎の取組状況に温度差があるのでは。

町長 Ⅱ 温度差はあるが、28年度には立ち上げると言い強い方針で臨み、各地区とも設立に向けて動き出した。センター長や事務局長の選任も行われている。

松本 Ⅱ 各地区毎に状況や課題は違っているが、独自性・主体性を発揮するのも協働支援センターの役割の一つで、こうした中で統一して指導することは。

町長 Ⅱ 自分たちの地域を自分で運んで住みやすい地域にするよう取り組んでほしい。予算的なことは、別途協議する。

松本 Ⅱ 協働支援センターを立ち上げ、新年度の到達目標は。

町長 Ⅱ 各地区に協働支援センターを設置する。

松本 Ⅱ 新年度から協働の町づくりを推進する。その核となるのが協働支援センターと考えている。

将来に向け、自主的・主体的に取り組むため、各地区における町づくり計画を策定していく。

松本 Ⅱ 各地区の計画を策定するということが、役割として指導や計画書の審査などは町づくり推進課長 Ⅱ 各地区の現状は示している。5年間のビジョンを作ってもらって策定に当たっては本庁・支所の職員も関わりながら策定する。各協働支援センターの計画を尊重するため、審査などは行わない。

松本 Ⅱ 各地区の公民館の位置づけと役割、活動内容は協働支援センターの中での位置づけなのか。

町長 Ⅱ 公民館は、生活文化の振興や、社会福祉の増進等社会教育の拠点として位置づけられている。

一方協働支援センターは、自治組織のみならず、各種



お母さんありがとう・油木保育所退所式

町長 Ⅱ 各支所長や支所の担当者を担当する。

松本 Ⅱ 町民に協働支援センターの方針・役割り・活動内容が充分理解されていないように思えるが、どのように周知徹底させるのか。

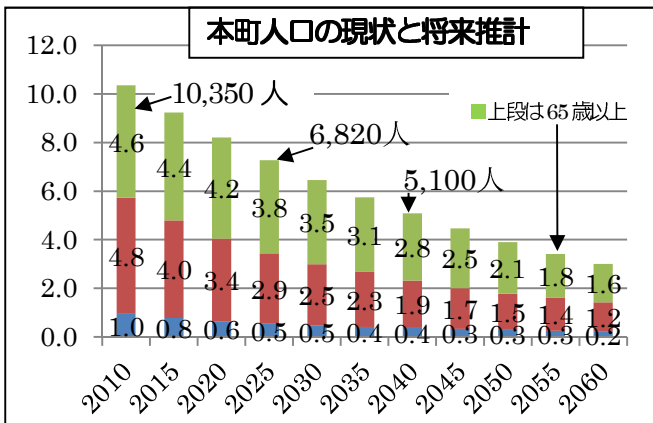
町長 Ⅱ これまでになりに取り組んで難しいが、協働支援センターが中心になり、自治振興会と連携し、組織の設立目的や活動計画を示しながら周知する。

高齢化。少子化により、集落の維持が困難な地域も出てくることから、人口の減少を見据えた体制を作り上げていく。

町長 Ⅱ 28年度においては、公民館活動は通常どおり行いながら協働支援センターで行う事業と調整を図り、公民館の位置づけや役割を検討し方向性を定めたい。

松本 Ⅱ 各地区の協働支援センターに担当職員を配置すること言われていたがどのような形で配置するのか。

本町人口の現状と将来推計



◎ 財政の確立にむけての取り組みは

◎ 自主財源の確保に向けた取り組みを

松本Ⅱ牧野町政の11年間で、積極的に町の振興策を取り組みながら、借金を大幅に減らし、基金を増額している。

財政の健全化を継続させる取組みは。

松本Ⅱ3つの過剰（人員・施設・債務）の解消に向けた取組みの継続、新町建設計画に基づいた事業の実施、各種補助事業の見直し、自主財源の確保に向けた取組みの強化等を継続して取組む。



2016 車輪村・豊松小学校

員の削減は、定員適正化計画を上回って削減している。

職員の数については、削減のききでなく、どのようなサービスを提供するのか、仕事量、サービスの内容によって決めるべきである。

町長Ⅱ財政は、更に厳しくなると予想される。危機感をもつて行政を推進する。

松本Ⅱ油木高校から保育科に進む生徒が毎年何人かいる。保育士の採用を検討すべきでは。

町長Ⅱ現在保育士は充足しているので採用は考えていない。

松本Ⅱ保育所には、多くの臨時職員を採用している。1才児、2歳児の保育や、土曜保育を始めた時も、増員しないで、臨時職員で対応している。子育て支援や定住促進を進めるためにも保育士の採用を行うべきではないのか。

町長Ⅱ状況を検討して、臨機応変に対応する。

予算特別委員会での質問

いずみ保育所の新築は

松本Ⅱいずみ保育所の新築については、設計の段階から、現場の声や保護者の意見を聞いて使いやすい保育所を作るべきだと思うが。

福祉課長Ⅱ保育所の職員の意見を聞くように取り組んでいる。必要なら保護者の意見も聞く。

小学校の5校体制は

松本Ⅱ少子化の影響で児童数が減少しているが、小学校の5校体制はいつまで維持するのか。

教育長Ⅱ地域から統合の声が出るまでは現状を維持したい。

町道の維持修繕は

松本Ⅱ町道で、改良工事の見込みがない幹線道路について舗装の修繕、路側の白線などについて計画的に補修するべきと思うが。

建設課長Ⅱ今後検討する。新年度は維持費も増額している。必要に応じて補修する。

「吾川川」の改修は

松本Ⅱ「吾川川」の改修工事は、消防法による指導事

項だけなのか、地元の要望も聞き入れているのか。

町づくり推進課長Ⅱ地元の要望を聞き入れて設計している。

し尿処理場の管理は

松本Ⅱし尿処理所はかなり老朽化が進んでいる。今後の維持修繕は。

環境衛生課長Ⅱかなり老朽化しているが、修理をしながら使用している。現在施設の診断を行っている。その結果をみて28年度中に、修繕か改修か結論を出したい。

環境衛生課長Ⅱ必ず1名以上の技術管理者を配置する。

そのため、技術管理者の資格を取得させる研修を受けさせて技術管理者を養成したい。

40歳以上の健康管理は

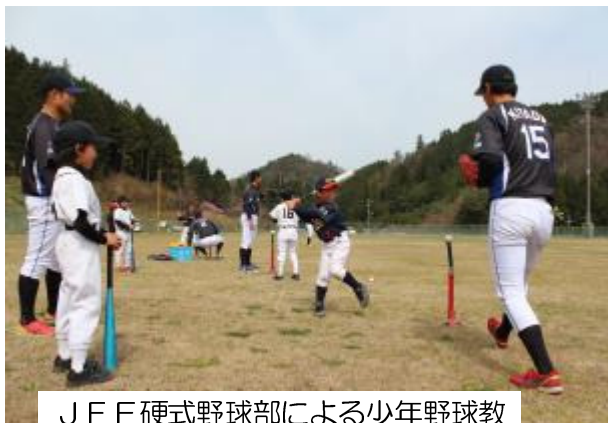
松本Ⅱ40歳以上の健康管理については、総合健診の受診も必要だが、パワーリハビリを有効に活用して体力の向上に役立ててはどうか。

保健課長Ⅱパワーリハビリの利用は、委託して運営している。高齢者の利用が多く、余裕がない。

松本Ⅱ希望する団体に夜間でも自由に使用させてはどうか。

保健課長Ⅱ老人福祉院に委託し、施設に設置しているの、夜間の利用は出来ない。

指導者もいないし、パワーリハビリの利用を自由に貸し出すことは出来ない。



J F E 硬式野球部による少年野球教

ちあせているのは、直営で運営し、職員が大切に、修理しながら利用しているからだと思う。現在施設には、技術管理者の職員が1人のみで、後は臨時職員である。秘書管理者の育成や、職員の補充も必要ではないか。

環境衛生課長Ⅱ必ず1名以上の技術管理者を配置する。

そのため、技術管理者の資格を取得させる研修を受けさせて技術管理者を養成したい。

40歳以上の健康管理は

松本Ⅱ40歳以上の健康管理については、総合健診の受診も必要だが、パワーリハビリを有効に活用して体力の向上に役立ててはどうか。

保健課長Ⅱパワーリハビリの利用は、委託して運営している。高齢者の利用が多く、余裕がない。

松本Ⅱ希望する団体に夜間でも自由に使用させてはどうか。

保健課長Ⅱ老人福祉院に委託し、施設に設置しているの、夜間の利用は出来ない。

指導者もいないし、パワーリハビリの利用を自由に貸し出すことは出来ない。

平成28年度新規事業及び拡充事業

事業名	事業内容	予算額
安田上区簡易水道整備事業	安田上地区に簡易水道を新設 配水管敷設6,510m	1億121万円
子育て支援等 (町づくり推進課)	誕生祝金支給〔1才児〕 20万円	5,135万円
	小・中学校入学金支給 各10万円	
	子育て応援住宅支援 最大150万円	
	基本補助 20万円	
	加算補助 町内業者による建築 70万円	
	子育て世帯及び新婚世帯 30万円	
	町外からの転入者 30万円	
	空き家活用支援事業 最大150万円	
空き家及び住宅改修補助 最大50万円		
定住促進対策事業 (福祉課)	保育料の第2子以降無料化 (所得制限なし) (町立保育所・託児所の第2子以降)	1,542万円
定住促進対策事業 (学校教育課)	幼稚園・保育料の第2子以降無料化 学校給食費の実質無料化	3,509万円
保育所改修整備	いずみ保育所の新築設計	900万円
消防団への備品の配備	ヘルメット、ヘッドライト、踏み抜き防止板	477万円
新規就農者支援事業	新規就農者を経済的に支援。 2ヵ年まで毎月10万円	1,137万円
新規就農者研修環境整備事業	トマト栽培研修施設の整備 用地買収・圃場造成整備	829万円
地域農業集団等活性化機械 共同利用	営農組織等へ農機具導入補助 30% 営農組合・認定農業者＝上限100万円 法人＝上限180万円	1,593万円
畜舎新築。増改築の補助	畜舎の新築。増改築の補助 30% 上限200万円	537万円
豊松小学校整備	校舎・グラウンド等施設改修工事	5,200万円
豊松学校給食共同調理場経費	給食調理・配送業務を民間委託	1,580万円
町立体育館施設改修事業	旧油木中学校体育館を屋内グラウンドに整備 町立体育館の音響反射板を撤去	4,570万円
図書館施設管理費	シルとピアカレッジ図書館を指定管理により民間委託	2,153万円
協働支援センター運営費	旧自治振興会運営分3,080万6千円 自由財源分4,000万円	7,394万円



2月28日に総社市で行われた「そうじや吉備路マラソン」大会に、内藤 栄さんと二人参加しました。
二人とも初めてのフルマラソンでしたが、どうにか完走する事が出来ました。

タイム14時間47分26秒
50歳以上11361位
参加者 約780人
全体 1524位
参加者 約2880人

フルマラソン初完走
そうじや吉備路マラソン